

受講対象者
高校生
各回募集人数
20名

古文書を読んで むかしの災害を 調べよう

開催日

2024
8月2日(金) / 10月6日(日)

開催場所

東京大学地震研究所 〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

アクセスマップ <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access/>

集合場所：東京大学地震研究所1号館玄関

集合時間：10時

出典：石川県立図書館 SHOSHÔ「能登国村名絵図」

ひらめき☆ときめきサイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

古文書を実際に解読する作業を通じて、過去の自然災害がどのように記録されてきたかを知り、今後の災害の軽減について考えます。

講義
1

古災害研究—なぜむかしの災害を調べるのか

古災害研究の意義を学びます。

講義
2

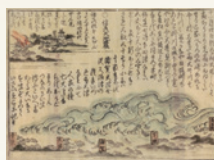
くずし字解読の基礎

後半の実習に必要な知識を学びます。

実習

古文書を読んでみよう

安政江戸地震などに関する史料を解読します。



最後に受講生それぞれが解読結果を発表し、答え合わせと質疑応答で締めくくります。

解読する史料の例
(東京大学地震研究所所蔵)

※ 同じ内容で2回開講します。両方を受講することはできません。

先生(代表者)プロフィール

加納 靖之 かのう やすゆき
東京大学地震研究所・准教授



地震の研究をしています。2012年ごろから、古文書を読んでむかしの地震や災害を調べる研究をはじめました。これに関連して、市民参加型の歴史資料の解読プロジェクト「みんなで翻刻」を仲間たちと立ちあげました。

持ち物

筆記用具、パソコンやタブレット(もしあれば)、昼食
※パソコン・タブレットは補助的に使用します。
持参されなくても問題ありません。

お申し込み

下記の日本学術振興会 HP からお申し込みください。
<https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/>

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

ひらめき☆ときめきサイエンス

検索



お申し込み締切日 7月26日(金) … 8月2日(金)開催分
9月24日(火) … 10月6日(日)開催分